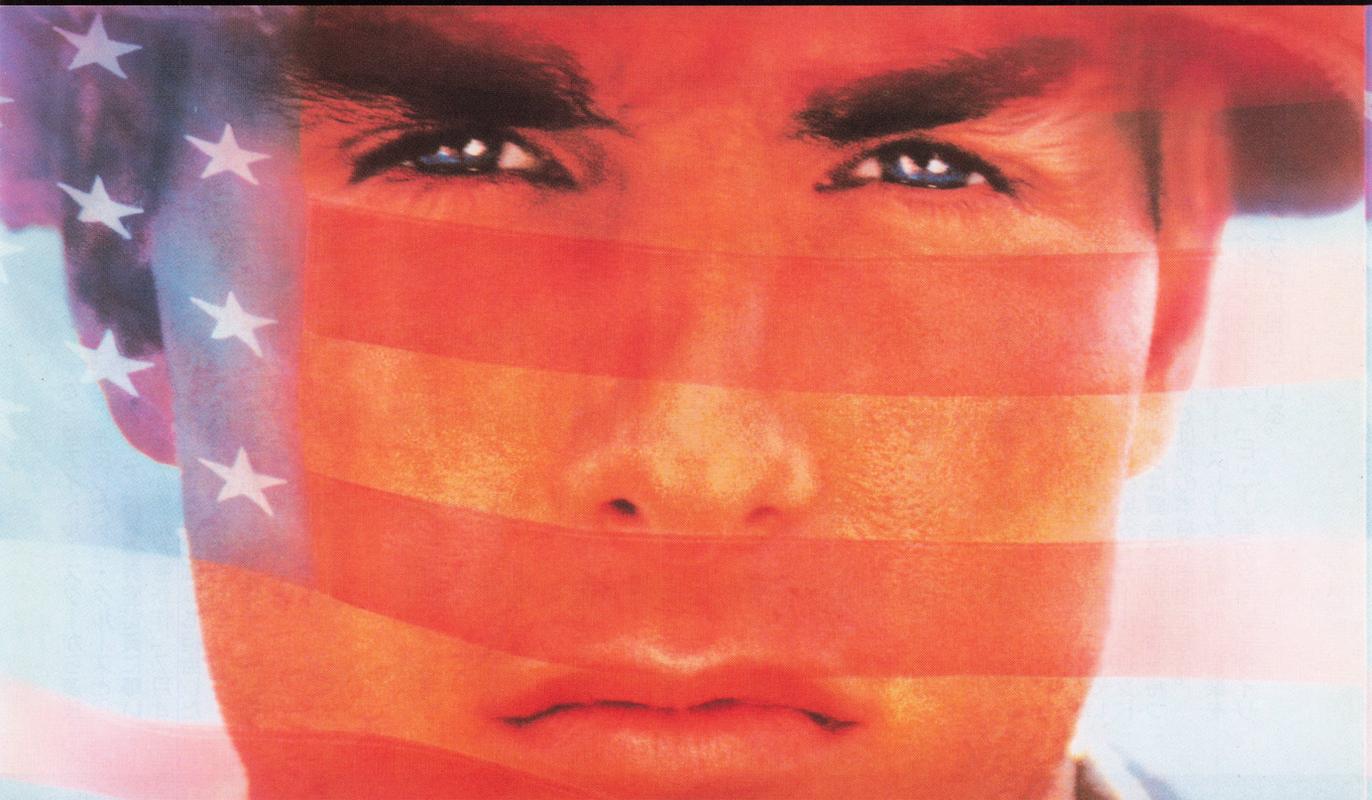


〈86アカデミー賞監督賞受賞〉

トム・クルーズとオリバー・ストーン監督のコンビが
アカデミー賞に挑む!



トム・クルーズ
7月4日に生まれて

BORN ON THE FOURTH OF JULY

トム・クルーズ/ウィレム・デフォー
キーラ・セドウィック/レイモンド・J・バリー/ジェリー・レビン

監督オリバー・ストーン
製作A・キットマン・ホー&オリバー・ストーン
脚色オリバー・ストーン&ロン・コービック
原作ロン・コービック
撮影ロバート・リチャードソン
音楽ジョン・ウイリアムス

ユニバーサル映画 UIP 配給 © 1993 UNIVERSAL CITY STUDIOS, INC.





スタッフ

監督……………オリバー・ストーン
 製作……………A・キットマン・ホー
 ………………オリバー・ストーン
 脚色……………オリバー・ストーン
 ………………ロン・コービック
 原作……………ロン・コービック
 撮影……………ロバート・リチャードソン
 プロダクション・デザイナー……………ブルーノ・ルベオ
 編集……………デビッド・ブレナー
 音楽……………ジョン・ウィリアムス
 衣装……………ジュディ・ラスキン

キャスト

ロン・コービック……………トム・クルーズ
 ………………(少年時代)………ブライアン・ラッキー
 チャーリー……………ウイレム・デフォー
 父……………レイモンド・J・バリー
 母……………キャロライン・カバ
 トミー……………ジョシュ・エバンス
 ジミー……………ジェミー・タリスマン
 スザンヌ……………アン・ホビー
 パティ……………サマンサ・ラキンド
 ドナ……………キーラ・セドウィック
 ………………(少女時代)………ジェシカ・ブナネル
 ティミー……………フランク・ホエーリー
 スティーブ……………ジェイソン・クライン
 ジョーイ……………ジェリー・レバイン
 特務曹長……………トム・ヘレンジャー
 少佐……………ジョン・ゲッツ
 ウィルソン……………マイケル・コンポターロ

7月4日に生まれて

BORN ON FOURTH OF JULY

1989年度/A・キットマン・ホー&イクストラノ・プロ作品/ユニヴァーサル映画 配給 UIP 2時間25分

「レインマン」で一躍アイドル・スターから演技派アクターへと完全に脱皮したトム・クルーズと、ブライトンで'86アカデミー最優秀監督賞に輝いたオリバー・ストーン監督が組んだ最新作「7月4日に生まれて」は、原作書であり、脚本も担当したロン・コービックの実話を基に製作された。

これは単なるベトナム回顧にとどまらず、広い意味で反戦を謳い上げ、人を、国を愛するという人間の尊厳が圧倒的な映像迫力で描き上げられ、観る者を涙と感動に引きづりこますにはおかない。

ロン・コービックがベトナムへ戦いに行った時、人々は旗を振って見送った。そして胸から下が麻痺という身体で帰って来た時、人々は旗を焼いていた。

生まれた国を信じる事しか知らなかった少年が、その後戦争から傷ついて戻り、裏切られ現実に取り出され、愛する家族を乗り越えて、「心」を成長させて行く姿を描いた本作品は、ゴールデン・グローブ賞最優秀作品賞、監督賞、主演男優賞、脚色賞、オリジナル作曲賞の5部門にノミネートされ、更に本年度アカデミー賞でも最有力候補作品の評価を早くも勝ち得ている。

また主演のトム・クルーズはこの作品に賭ける意気込みとして、今回のギャラは興行的な成功を見る迄は要らないとオファー、かつ一年間も実際に車椅子での生活を体験するなど、ロバート・デ・ニロにも匹敵する役作りの為の準備を入念に行なっている。

出演は他に、「ブライトン」でアカデミー賞助演男優賞にノミネートされ、マーチン・スコセッシの「最後の誘惑」ではキリスト役を、アラン・パーカー監督作品の「ミッシェル・ピー・ハーニング」に出演と、その確かな演技力を巨匠監督達から高く評価されているウイレム・デフォー。幼馴染みでガールフレンド役のキーラ・セドウィックは舞台やTV出演を持つ

スタッフはオリバー・ストーン監督の他、音楽を「スター・ウォーズ」、「E・T」等のジョン・ウィリアムスが担当している。



ロン・コービック
トム・クルーズ

80年「トップス」で映画デビュー、次いでコッポラの「アウトサイダー」に出演、同作品の撮影中に「卒業白書」にも出演、いわゆる「ブラッドバック」の一人として頭角を現わした。その中でも一躍彼を人気No.1に押し上げたのが85年の「トップガン」であった。以後も87年ポール・ニューマンにオスカーを持たせた「ハスラー」、88年「カクテル」、同年タスティン・ Hoffman に主演男優賞を、そして作品賞等オスカーをもちらした「レインマン」に出演。今作品はオスカー・サポーターからオスカー・ウィナーを確実視される成熟した演技者としてのトム・クルーズの記念碑的な作品である。



監督
オリバー・ストーン

87年ベトナムで歩兵として参戦。二度負傷を体験、その結果ブロンズ・スター賞とパープル・ハート・ウイズ・オーク・リーフ・クラスターの2個のメダルを授与されている。

そのベトナムの体験を基に86年「ブライトン」を脚本・監督、この映画は8つのアカデミー賞ノミネートを受け、作品賞と監督賞等4部門で受賞した。また86年には「ザルパドル」/遥かなる日々」も監督、翌87年「ウォール街」を、88年「トーク・レディオ」を発表している。監督としての才能以外に、脚本家としても非凡な才能を見せている彼の作品には「イヤー・オブ・サ・ドラゴン」、「ミッドナイト・エクスプレス」等があり、「ミッドナイト・エクスプレス」でアカデミー賞脚本賞、アメリカ脚本家組合賞を受賞している。

アカデミー賞最有力作品!! ■今徳用特別鑑賞券発売中 ■ペア券¥2,300 ■一般¥1,300 ■学生¥1,100

2月17日(土)よりロードショー クレイドシネマ

西4南9(ヨーカドーウラ) 22-2355

◆特別優待割引券◆

●本券2枚巻の方は、窓口料金より
 ●一般 200円 ●高校以下 100円
 を割引します。